

# 平成28年度 老人福祉施設等における事故報告 集計・分析結果

I	平成28年度の状況
1	事故の内容
2	事故の月別発生件数
3	事故の内容別月別発生件数
	(1) 骨折の月別発生件数
	(2) 打撲の月別発生件数
	(3) 誤薬の月別発生件数
	(4) 無断外出の月別発生件数
	(5) 誤嚥の月別発生件数と重症化
4	骨折と打撲における受傷部位
5	事故の施設別発生件数
6	事故の発生事例
I	平成28年度の重大事故
1	重大事故・死亡事故の割合
2	重大事故の内容
3	重大事故の月別発生件数
4	重大事故の施設別発生件数
III	年度比較
1	事故報告件数の年度推移
2	事故の内容
IV	その他
1	対象施設一覧

保健福祉部福祉局施設運営指導課

# I 平成28年度の状況

## 1 事故の内容

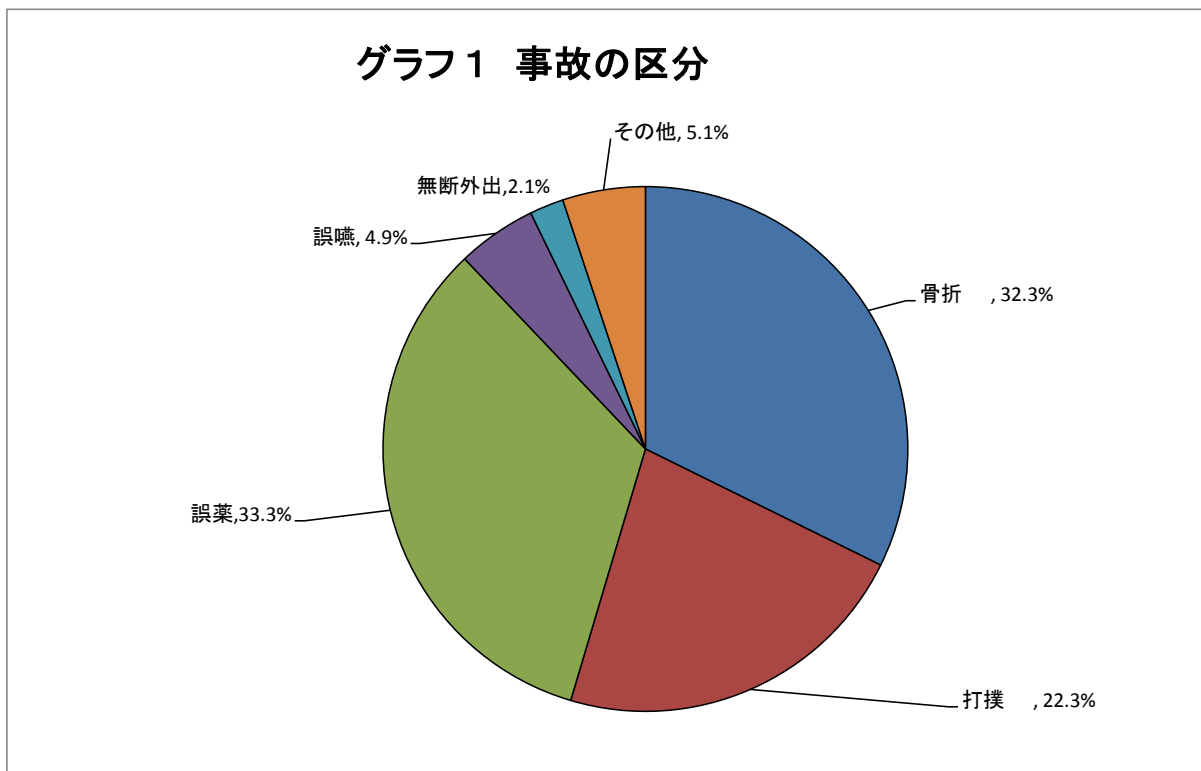
表1 事故の区分 (単位：件、%)

区 分	件数	構成比
骨折 ※1	3,244	32.3
打撲 ※2	2,236	22.3
誤薬	3,342	33.3
誤嚥 ※3	497	4.9
無断外出	206	2.1
その他	513	5.1
合 計	10,038	100.0

※1 骨折：骨折のほか、腱断裂など全治1ヶ月以上の重傷を含む。

※2 打撲：打撲のほか、裂傷・擦過傷・切傷・刺傷などで、全治1ヶ月未満の軽傷を含む。

※3 誤嚥：誤嚥のほか、誤飲、誤食を含む。



平成28年度の事故報告の総数は前年度に比較し、11.0%増加して10,038件であった。事故で最も多かったのは「誤薬」の3,342件で、全体の33.3%となっており、次いで「骨折」(32.3%)、「打撲」(22.3%)の順となっている。

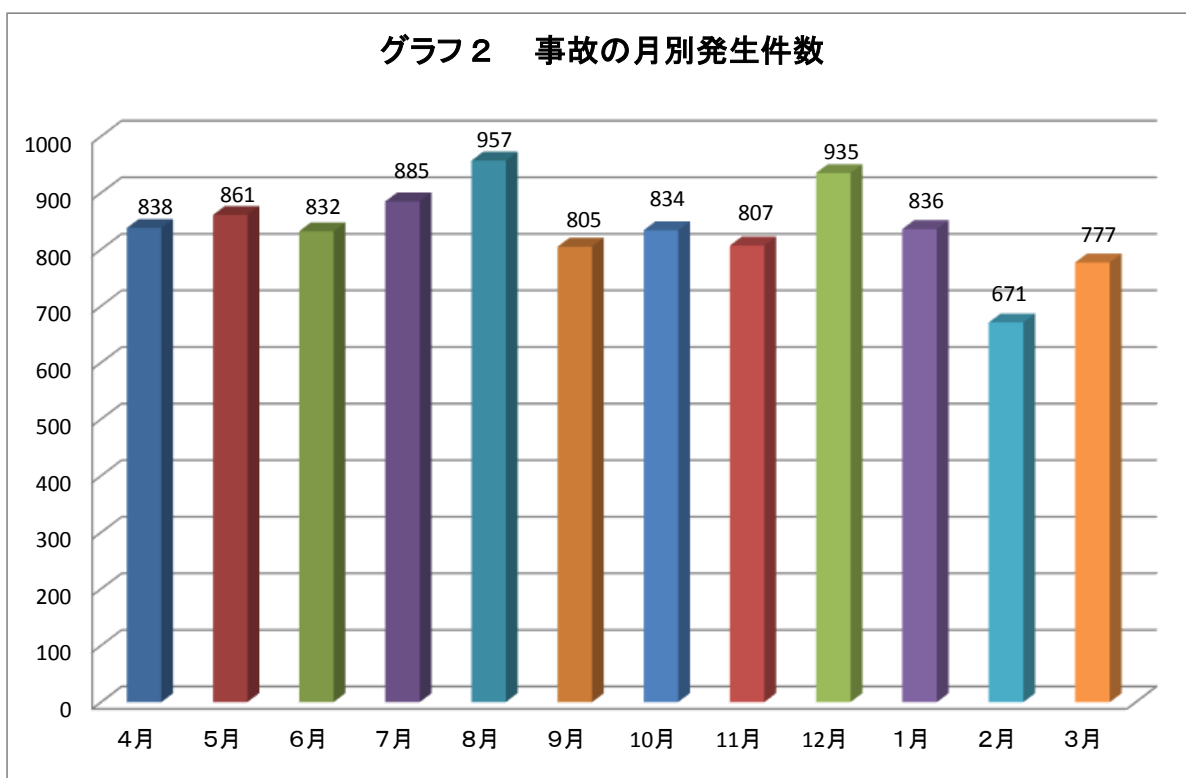
また、「誤薬」、「骨折」、「打撲」で全体の9割近くを占めている。

## 2 事故の月別発生件数

表2 事故の月別発生件数

(単位：件、%)

月	件数	構成比
4月	838	8.4
5月	861	8.6
6月	832	8.3
7月	885	8.8
8月	957	9.6
9月	805	8.0
10月	834	8.3
11月	807	8.0
12月	935	9.3
1月	836	8.2
2月	671	6.7
3月	777	7.8
合計	10,038	100.0



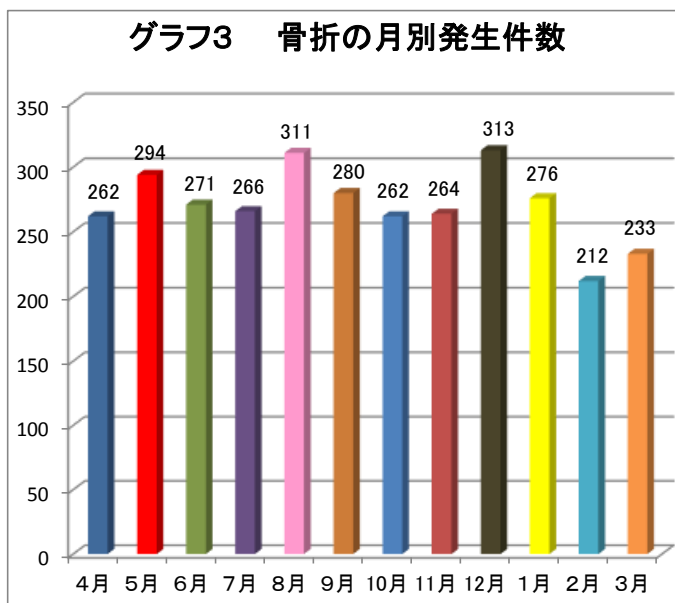
事故の月別発生件数は、8月が957件と最も多く、次いで12月の935件となっている。最も少ないのは2月で671件となっている。

### 3 事故の内容別月別発生件数

#### (1) 骨折の月別発生件数(表3)

(単位：件、%)

月	件数	構成比
4月	262	8.1
5月	294	9.1
6月	271	8.3
7月	266	8.2
8月	311	9.6
9月	280	8.6
10月	262	8.1
11月	264	8.1
12月	313	9.7
1月	276	8.5
2月	212	6.5
3月	233	7.2
合計	3,244	100.0

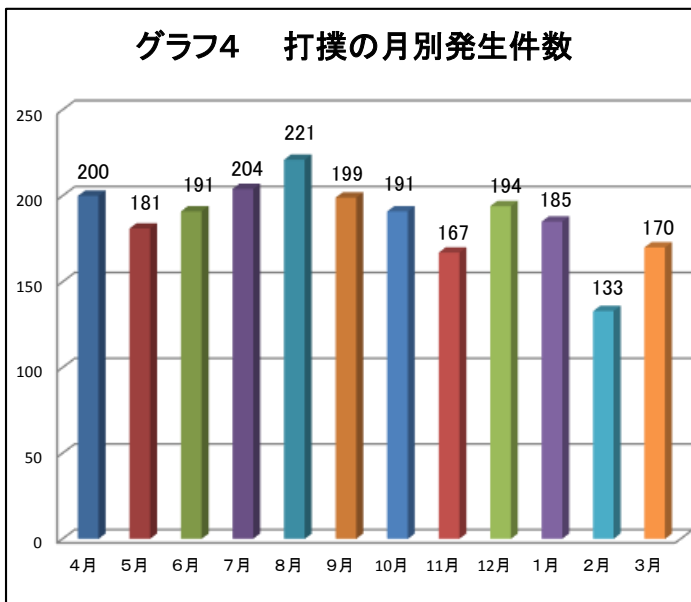


骨折の月別発生件数は、12月が313件と最も多い。次いで8月が311件となっている。最も少ないのは、2月の212件である。

#### (2) 打撲の月別発生件数(表4)

(単位：件、%)

月	件数	構成比
4月	200	8.9
5月	181	8.1
6月	191	8.5
7月	204	9.1
8月	221	9.9
9月	199	8.9
10月	191	8.6
11月	167	7.5
12月	194	8.7
1月	185	8.3
2月	133	5.9
3月	170	7.6
合計	2,236	100.0

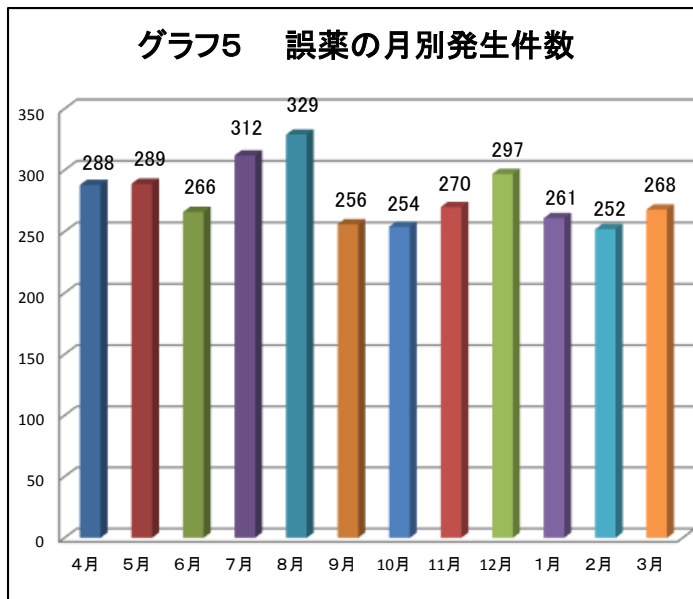


打撲の月別発生件数は、8月が221件と最も多く、2月が133件で最も少ない。

(3) 誤薬の月別発生件数(表5)

(単位：件、%)

月	件数	構成比
4月	288	8.6
5月	289	8.7
6月	266	8.0
7月	312	9.3
8月	329	9.8
9月	256	7.7
10月	254	7.6
11月	270	8.1
12月	297	8.9
1月	261	7.8
2月	252	7.5
3月	268	8.0
合計	3342	100.0

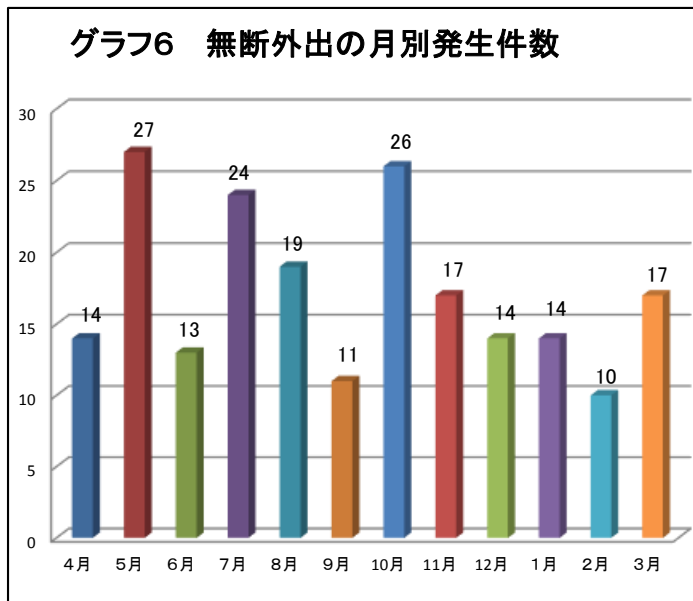


誤薬の月別発生件数は、8月が329件と最も多く、次いで7月が312件となっている他は、ほぼ毎月、同様の件数が発生している。

(4) 無断外出の月別発生件数(表6)

(単位：件、%)

月	件数	構成比
4月	14	6.8
5月	27	13.1
6月	13	6.3
7月	24	11.6
8月	19	9.2
9月	11	5.3
10月	26	12.6
11月	17	8.3
12月	14	6.8
1月	14	6.8
2月	10	4.9
3月	17	8.3
合計	206	100.0



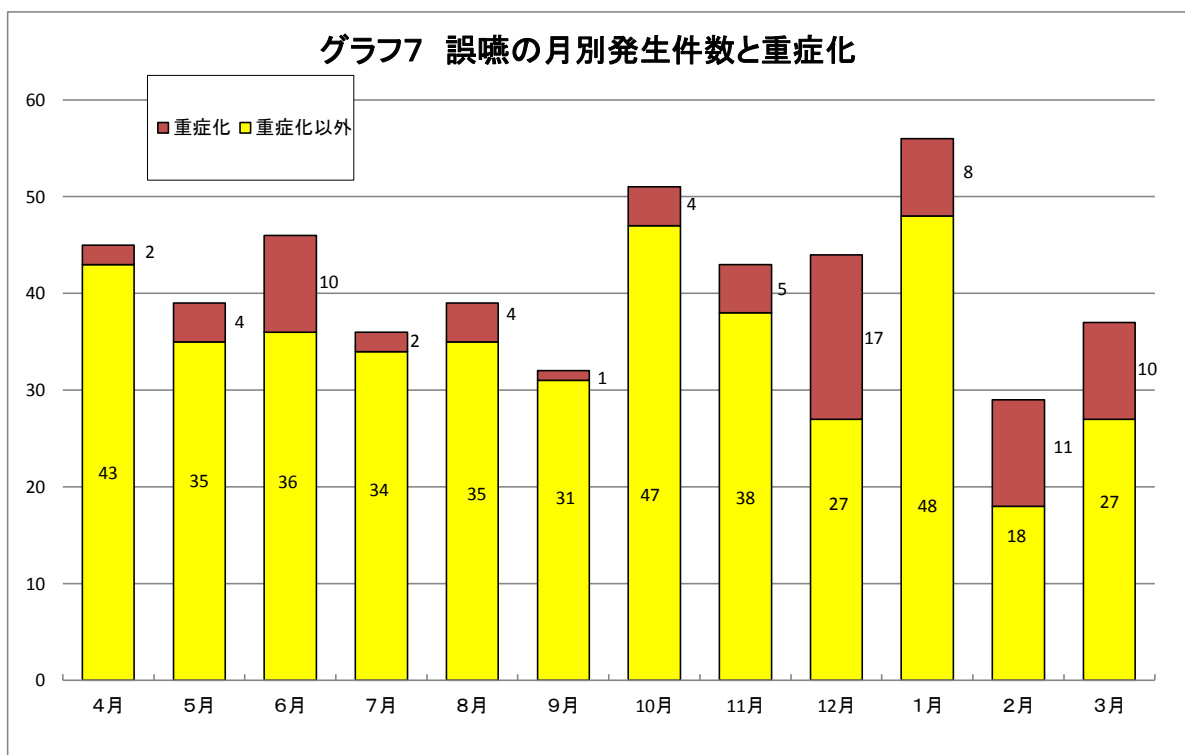
無断外出の月別発生件数は、5月が27件と最も多く、10月、7月がそれに続いている。

(5) 誤嚥の月別発生件数と重症化(表7)

(単位：件、%)

月	件数	左の内訳		
		重症化以外	重症化	重症化の割合
4月	45	43	2	4.4
5月	39	35	4	10.3
6月	46	36	10	21.7
7月	36	34	2	5.6
8月	39	35	4	10.3
9月	32	31	1	3.1
10月	51	47	4	7.8
11月	43	38	5	11.6
12月	44	27	17	38.6
1月	56	48	8	14.3
2月	29	18	11	37.9
3月	37	27	10	27.0
合計	497	419	78	15.7

※ 重症化：死亡や誤嚥性肺炎による入院など



平成28年度の誤嚥の総数は497件であり、前年度の502件から5件減少している。誤嚥の月別発生件数は、1月が56件と最も多く、2月が29件と最も少なかった。なお、重症化の割合は前年度の14.7%から15.7%と増加している。

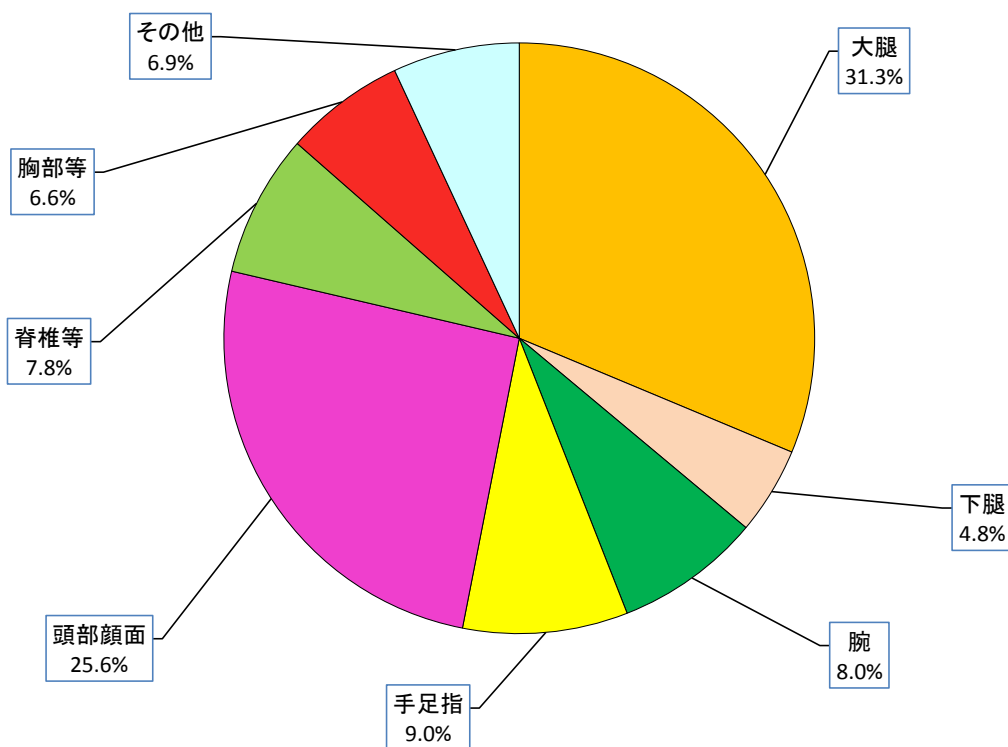
## 4 骨折と打撲における受傷部位

表8 骨折と打撲における受傷部位

(単位：件、%)

区 分	件 数	構成比
大腿	1715 (骨折1587、打撲128)	31.3
下腿	262	11.1
腕	437	18.5
手足指	495	20.9
頭部顔面	1401 (骨折60、打撲1341)	25.6
脊椎等	428	18.1
胸部等	362	15.3
その他	380	16.1
合 計	2,364	100.0

グラフ8 骨折と打撲における受傷部位



骨折と打撲における主な受傷部位は、「大腿」が全体の31.3%(1,715件)を占め、次いで「頭部顔面」の25.6%(1401件)、「手足指」が9.0%(495件)となっている。骨折は「大腿」が最も多く(1,587件)、打撲は「頭部顔面」が最も多い(1,341件)。

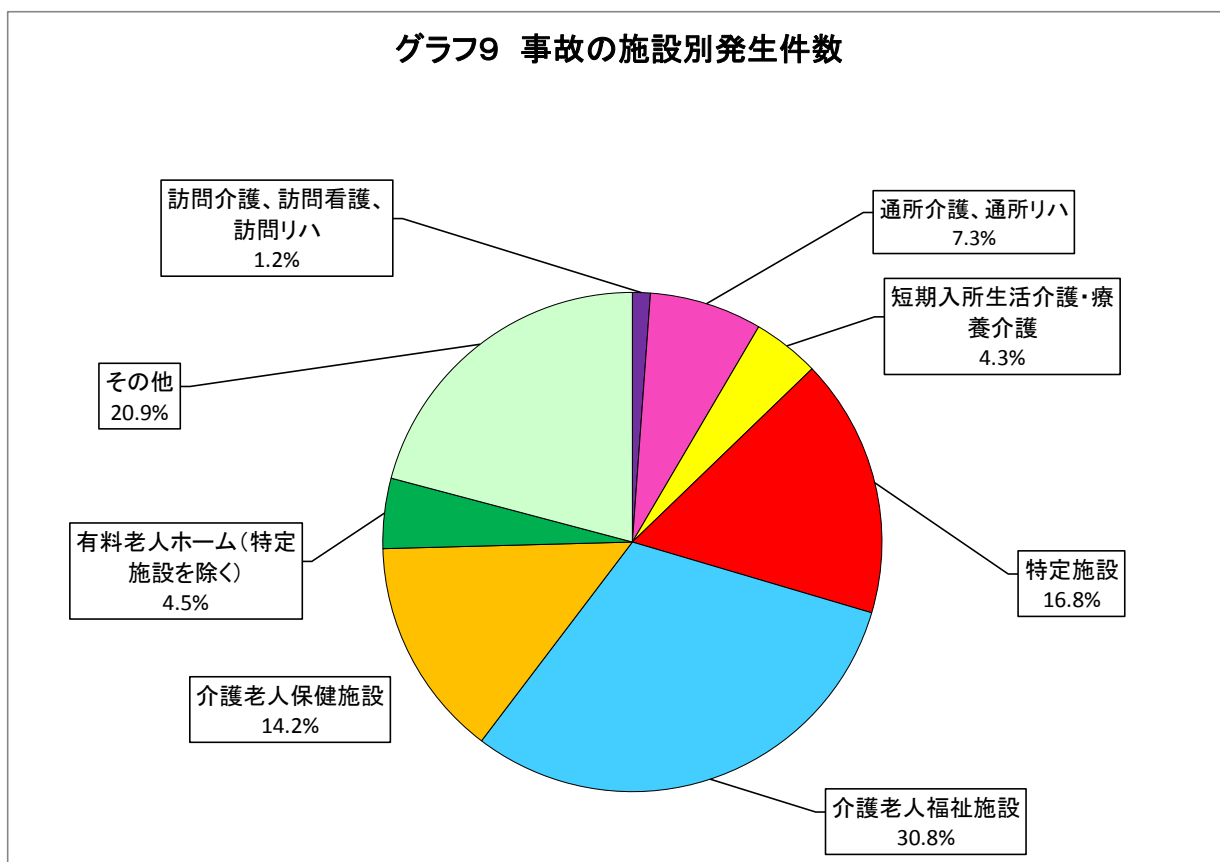
## 5 事故の施設別発生件数

表9 事故の施設別発生件数

(単位：件、%)

区分	件数	構成比
訪問介護、訪問看護、訪問リハ	116	1.2
通所介護、通所リハ	732	7.3
短期入所生活介護・療養介護	436	4.3
特定施設	1,685	16.8
介護老人福祉施設	3,087	30.8
介護老人保健施設	1,430	14.2
有料老人ホーム(特定施設を除く)	456	4.5
その他	2,096	20.9
合計	10,038	100.0

グラフ9 事故の施設別発生件数



事故の主な発生施設は、「介護老人福祉施設」が30.8%(3,087件)と最も多く、次いで「特定施設」が16.8%(1,685件)、「介護老人保健施設」が14.2%(1,430件)の順となっており、「介護老人福祉施設」と「特定施設」の二つの施設で全体の5割近くを占めている。



## 6 事故の発生事例

### (1) 骨折・打撲

施設区分	事故概要
介護老人福祉施設	車椅子を使用中、立ち上がり、転倒し、左大腿部を骨折した。手術のため、入院となった。
介護老人福祉施設	利用者がベッド横の床に転倒しているのを発見、救急搬送し、左大腿部転子部骨折と診断。
介護老人福祉施設	排泄後、下衣を上げようと立ち上がった際にバランスを崩し転倒。
介護老人保健施設	ポータブルトイレ使用時に、ベッド柵等にぶつかり、頭部を打撲した。病院受診し、再診指示を受けた。
介護老人保健施設	自力歩行中、失神発作により転倒。受診し、後頭部打撲との診断。経過観察。
特定施設	居室前の廊下で転倒。右大腿骨頸部骨折(手術)。
特定施設	椅子の配置変更が伝わらず、椅子の無い所に尻餅をつく。臀部打撲。
通所介護	ストレッチマシン利用時に腰が痛いと言っていたが普段通り家に戻ったがその後病院受診したと報告。第五腰椎圧迫骨折
短期入所生活介護	物音がして利用者の居室に訪室すると、利用者が転倒しているのを発見。大腿骨頸部から大転子骨折。

### (2) 誤嚥

施設区分	事故概要
介護老人福祉施設	入所者Bについて、夕食摂取時、嚥下力の低下により誤嚥が発生した。病院受診し、入院となった。
介護老人福祉施設	食事開始5分後に喉詰まりを起こす。サクション施行し、緊急搬送され入院となる。入院後は容態安定。
介護老人保健施設	昼食時に朝と同様に詰りが見られる為、サクションを行い詰まりをとった。

### (3) 誤薬

施設区分	事故概要
介護老人福祉施設	朝食後薬が朝食用服薬ボックスに残っているのを発見。服薬漏れが判明。看護職員が対応。
介護老人福祉施設	看護職員と夜勤介護職員の間で伝達ミスがあり、本来服用する薬が服用できていなかった
介護老人保健施設	夕食後薬の内服介助時に、オブラートを取り出そうとした際に、錠剤が1錠がオブラートケースから出てきた。いつの物かは不明だがオブラートが破損してこぼれ出たものと考えられる。
特定施設	処方では2/4からの服薬開始の薬を誤って1/27に服薬させてしまった。その後主治医に報告し様子観察の指示を受けた。

## Ⅱ 平成28年度の重大事故

### 1 重大事故、死亡事故の割合

表1 重大事故の割合 (単位:件、%)

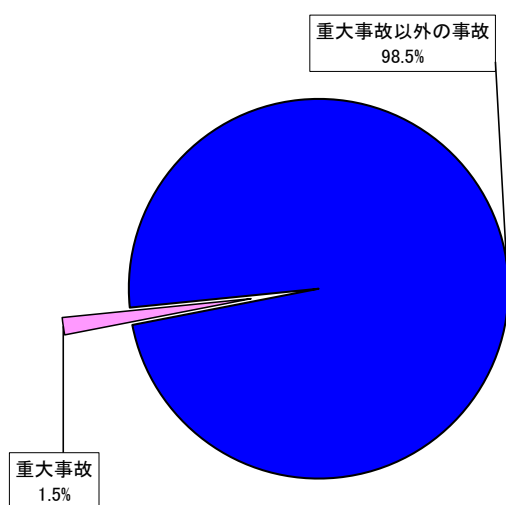
区 分	件数	構成比
重大事故	146	1.5
重大事故以外の事故	9,892	98.5
合 計	10,038	100.0

※ 重大事故 : 死亡事故、不法行為、虐待、行方不明等

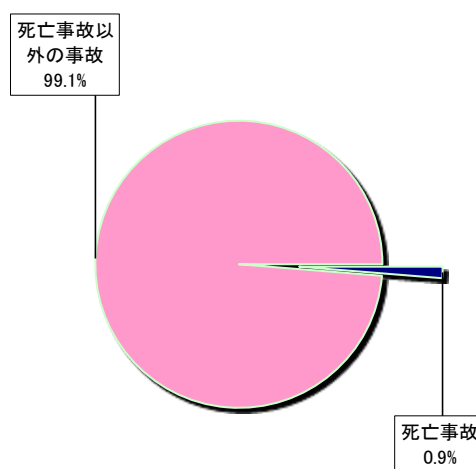
表2 死亡事故の割合 (単位:件、%)

区 分	件数	構成比
死亡事故	94	0.9
死亡事故以外の事故	9,944	99.1
合 計	10,038	100.0

グラフ1 重大事故の割合



グラフ2 死亡事故の割合



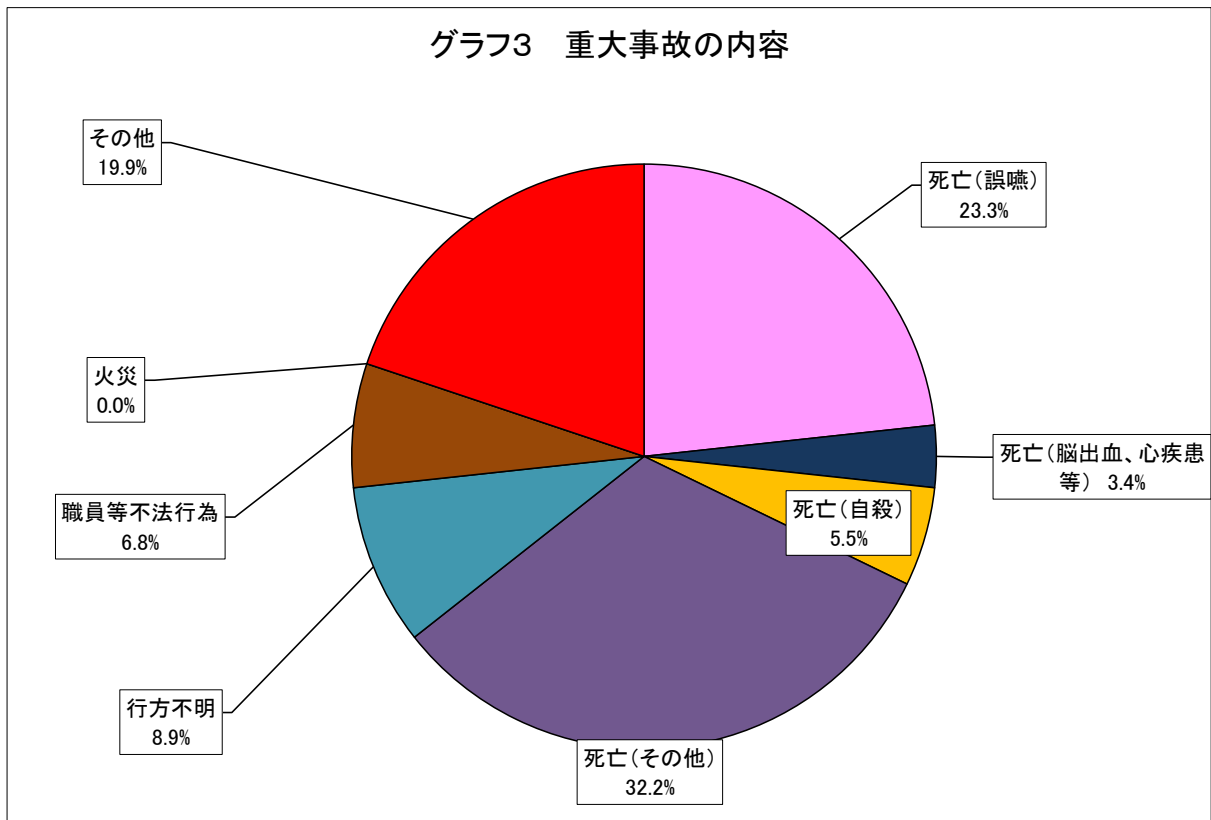
重大事故の割合は、全体の1.5%(146件)となっている。また、死亡事故の割合は、事故総数全体の0.9%(94件)であり、重大事故(146件)に占める割合は64.4%となっている。事故総数、重大事故数は増加している。

## 2 重大事故の内容

表3 重大事故の内容

(単位:件、%)

区 分	件数	構成比
死亡(誤嚥)	34	23.3
死亡(脳出血、心疾患等)	5	3.4
死亡(自殺)	8	5.5
死亡(その他)	47	32.2
行方不明	13	8.9
職員等不法行為	10	6.8
火災	0	0.0
その他	29	19.9
合 計	146	100.0



重大事故の内容は、「死亡(その他)」が最も多く全体の32.2%(47件)を占め、次いで「死亡(誤嚥)」(23.3%)、「行方不明」(8.9%)の順となっている。

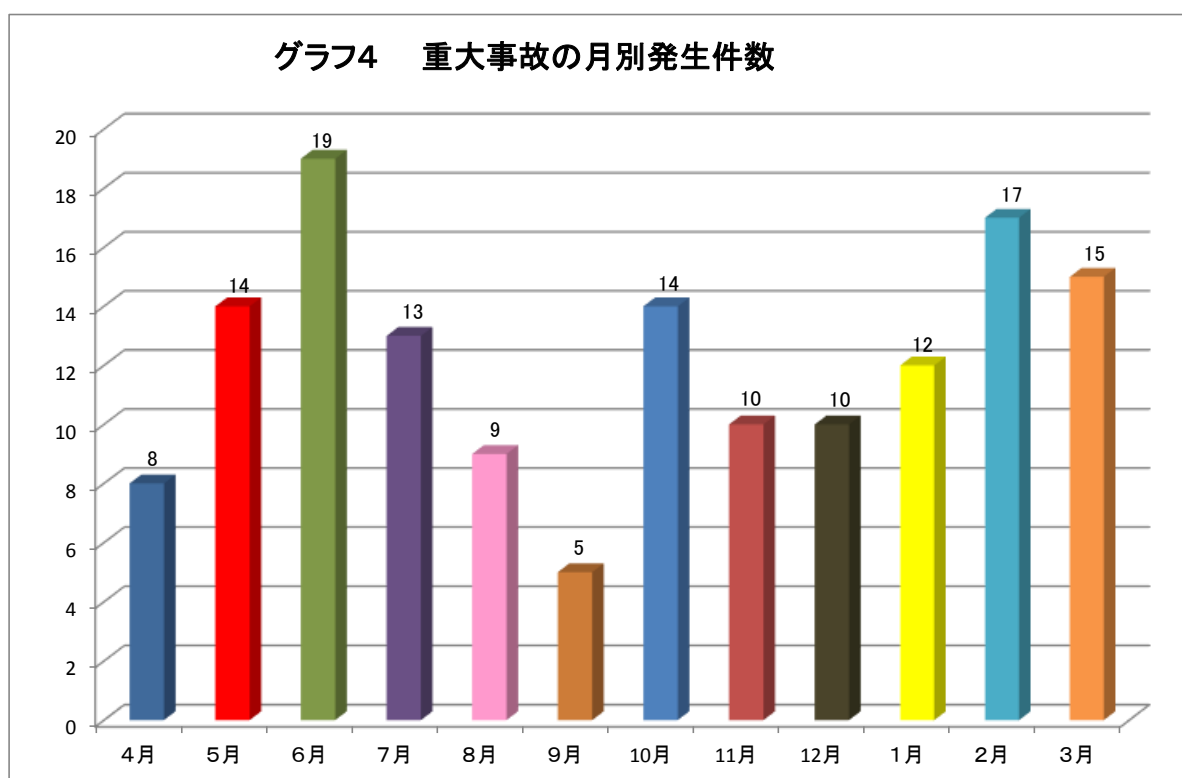
死亡事故以外での重大事故の内容としては、「行方不明」のほか、「職員等不法行為」となっている。

### 3 重大事故の月別発生件数

表4 重大事故の月別発生件数

(単位:件、%)

月	件数	構成比
4月	8	5.5
5月	14	9.6
6月	19	13.0
7月	13	8.9
8月	9	6.2
9月	5	3.4
10月	14	9.6
11月	10	6.8
12月	10	6.8
1月	12	8.2
2月	17	11.7
3月	15	10.3
合計	146	100.0



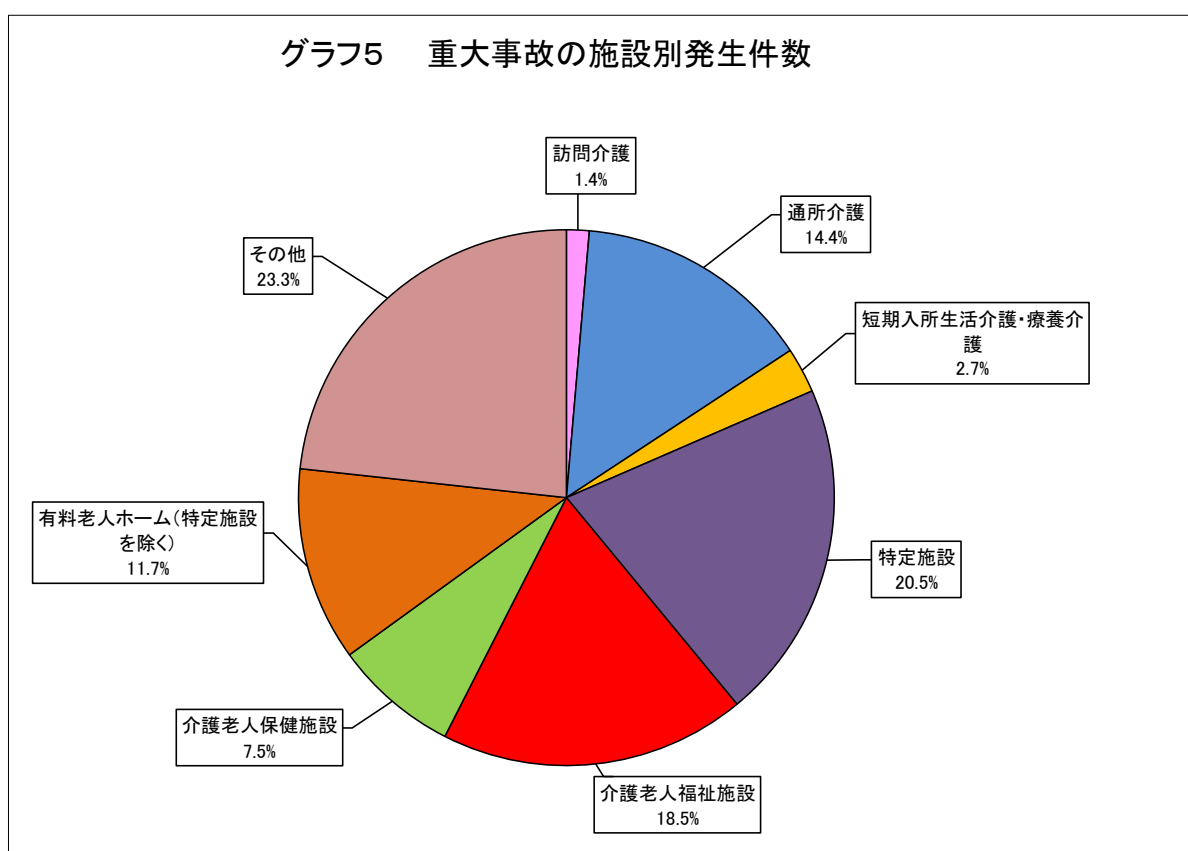
重大事故の月別発生件数は、6月が19件と最も多く、次いで2月が17件となっている。最も少ないのは9月の5件となっている。

## 4 重大事故の施設別発生件数

表5 重大事故の施設別発生件数

(単位:件、%)

区分	件数	構成比
訪問介護	2	1.4
通所介護	21	14.4
短期入所生活介護・療養介護	4	2.7
特定施設	30	20.5
介護老人福祉施設	27	18.5
介護老人保健施設	11	7.5
有料老人ホーム(特定施設を除く)	17	11.7
その他	34	23.3
合計	146	100.0



重大事故発生の主な施設は、「特定施設」が20.5%(30件)と最も多く、次いで「介護老人福祉施設」(18.5%)、「通所介護」(14.4%)となっており、これらで5割以上となっている。

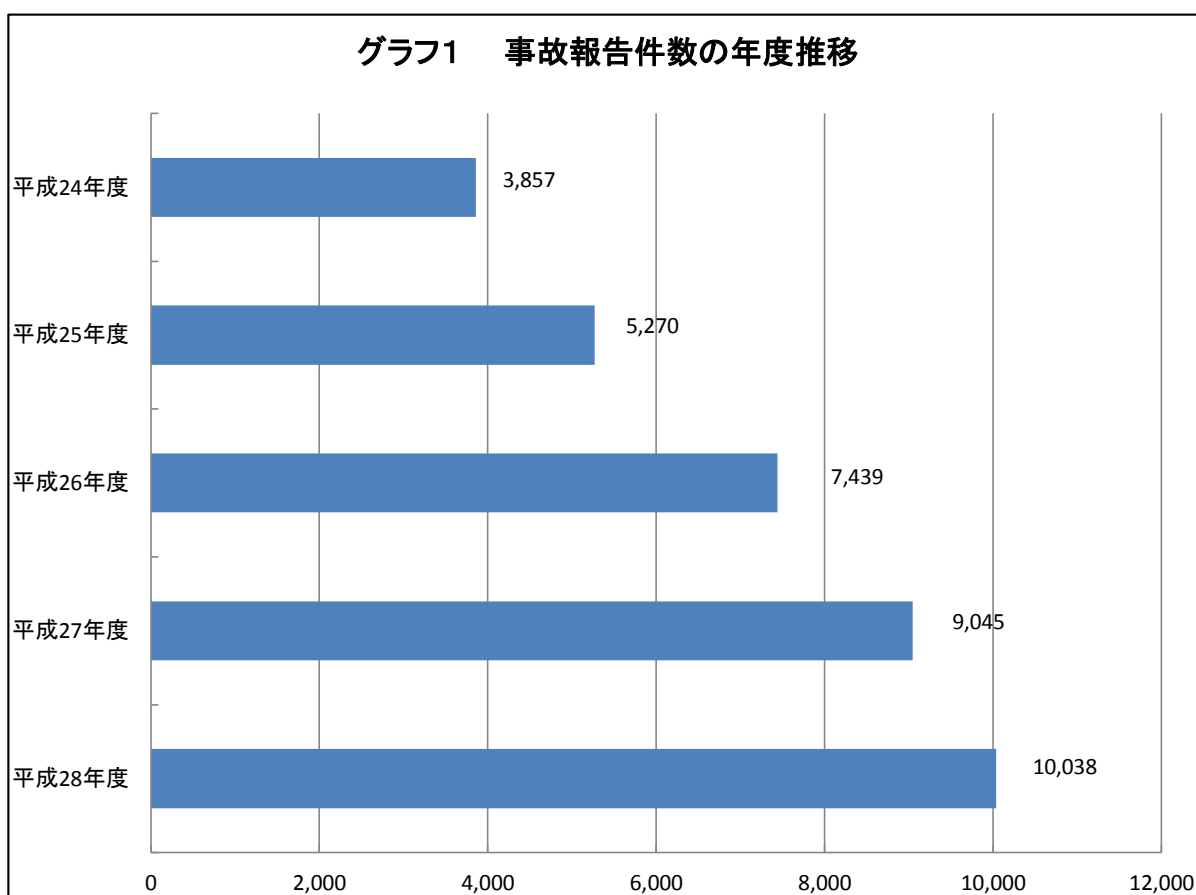
### Ⅲ 年度比較

#### 1 事故報告件数の年度推移

表1 事故報告件数

(単位：件、%)

区分	件数	前年度比
平成24年度	3,857	119.0
平成25年度	5,270	136.6
平成26年度	7,439	141.2
平成27年度	9,045	121.6
平成28年度	10,038	111.0



事故報告件数は、過去5年間いずれも前年度から増加しており、平成28年度は10,038件となっている。

なお、報告件数の増加には、施設・事業所等の増加による影響が考えられる。

## 2 事故の内容

表2 事故内容の年度推移

(単位：件)

区分	骨折	打撲	誤薬	誤嚥	無断外出	その他	合計
平成24年度	1,968	903	440	218	84	244	3,857
平成25年度	2,294	1,307	958	327	90	294	5,270
平成26年度	2,683	1,926	1,957	442	129	302	7,439
平成27年度	2,974	2,266	2,693	502	193	417	9,045
平成28年度	3,244	2,236	3,342	497	206	513	10,038

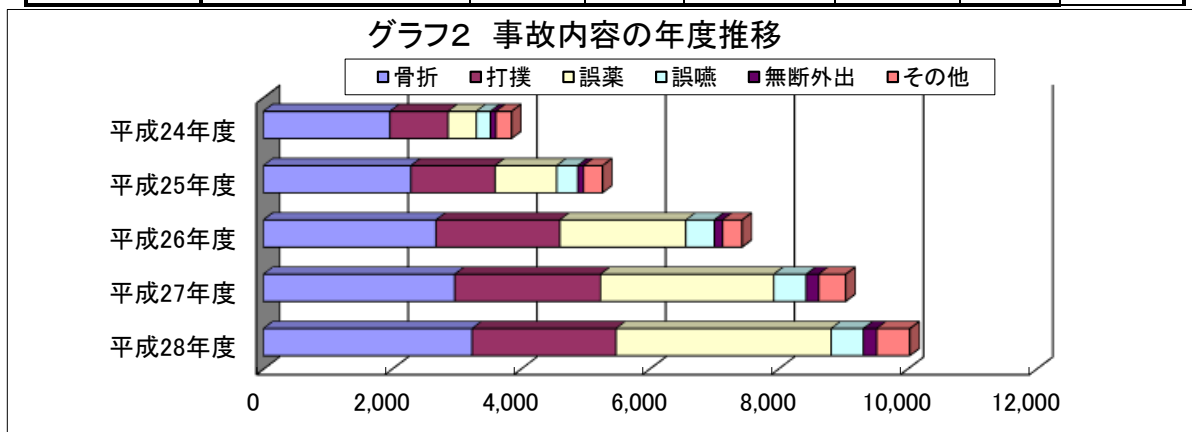
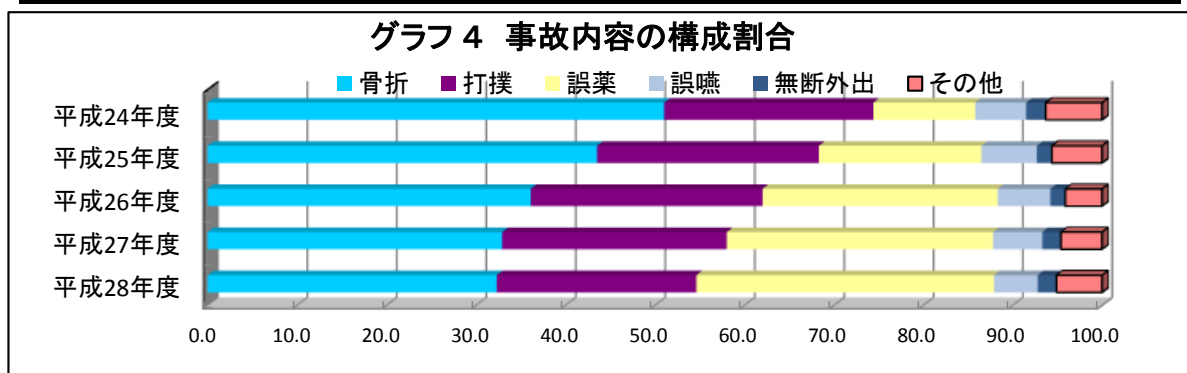


表3 過去5年間の事故内容における構成割合の比較

(単位：%)

構成比(%)	骨折	打撲	誤薬	誤嚥	無断外出	その他	合計
平成24年度	51.0	23.4	11.4	5.7	2.2	6.3	100.0
平成25年度	43.5	24.8	18.2	6.2	1.7	5.6	100.0
平成26年度	36.1	25.9	26.3	5.9	1.7	4.1	100.0
平成27年度	32.9	25.1	29.8	5.5	2.1	4.6	100.0
平成28年度	32.3	22.3	33.3	4.9	2.1	5.1	100.0



事故内容を見ると、過去4年間、いずれも「骨折」の割合が一番高くなっているが、28年度は誤薬が一番高く33.3%となった。「誤薬」に続いて多いのが「骨折」と「打撲」である。

構成割合で見ると、「誤薬」の報告件数の増加に伴い、「骨折」は年々減少している。

## IV その他

### 1 対象施設一覧

訪問介護・訪問入浴介護
訪問看護
訪問リハビリテーション
通所介護
通所リハビリテーション
短期入所生活介護
短期入所療養介護
特定施設(養護老人ホーム)
特定施設(有料老人ホーム)
特定施設(軽費老人ホーム)
特定施設(その他)
福祉用具貸与・特定福祉用具販売
居宅介護支援
介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)
介護老人保健施設
介護療養型医療施設
養護老人ホーム(特定施設を除く)
有料老人ホーム(特定施設を除く)
軽費老人ホーム(特定施設を除く)
その他